

# BASE Program 交換留学準備プログラム

## (Basic Academic Program for Overseas Education)

アカデミック・オフィス  
(2017年4月12日)

### プログラムについて

BASE(Basic Academic Program for Overseas Education)は、海外交換留学を目指す1回生の日本語基準学生を対象とし、1年間を通して、交換留学合格を掴むために、英語運用能力、コミュニケーション能力、積極性、異文化適応能力の修得を目指す正課外の留学準備コースです。

基礎力向上、英語検定試験の対策に特化した特別英語授業、「交換留学先で学ぶこと、将来の目標、そして自分自身」について考えるワークショップ、さらに、夏休みは朝から晩まで英語の勉強漬けになる英語集中講座やAPUでの研修、海外での留学生活に備える耐久力および異文化環境での適応力を養成する海外研修\*を通じて多面的な角度から留学に備えます。また、教職員や先輩TA学生による学修指導や個別カウンセリング、留学相談などのサポートを受けながら、目標とする海外留学に向けて着実に力をつけていくことを目標とします。

\*海外研修はSECONDプログラムと合同で実施され、SECONDプログラムの単位と成績が付与されます。

### プログラム概要

BASEプログラムは下記の通り実施されます。

プログラム名称	BASEプログラム
実施期間	2017年5月～2017年12月末
内容と指導体制	<p>・英語講座（春・秋セメスター）</p> <p>春セメスターの英語授業では、レベルによって2つのクラスに分かれます。初級クラスでは、まずは英語の基礎固めを行います。基礎からしっかりと学習を振り返ることで、夏以降の伸びが全く違います。上級クラスでは、総合的な英語力の伸びを目指し、英語検定試験対策を行い、試験問題に本格的に取り組みながら、英語の基礎体力を鍛えます。適切な英語学習習慣を身につけ、夏までに一定の英語検定試験スコアの獲得を目指します。</p> <p>・ワークショップ（春・秋セメスター）</p> <p>春セメスターのワークショップでは、英語学習習慣の確立や効率的な学習方法・異文化理解の向上だけでなく、グループワークや学修アドバイジングなどを通じて自己を見つめ、留学の目標や内容を具体的に考えます。</p> <p>秋セメスターのワークショップでは、先輩TAのサポートを得ながら、交換留学申請書を作成し、お互いの申請書をフィードバックしあいます。また模擬面接も行います。交換留学申請期間が終了した後は、今後の目標設定や具体的な計画を作成し、1年間の振り返りを行います。</p> <p>・海外研修（SECONDプログラム）（夏季休暇中）</p> <p>海外研修では、東南アジア地域での調査活動を通して、東南アジアの文化的多様性を理解するだけでなく、交換留学に必要な、コミュニケーション能力、主体性、実践力、異文化適応能力等個人での留学生活に耐えられる精神力・体力・知力を総合的に鍛えます。BASEの海外研修はSECONDプログラムと合同で実施され、単位と成績が付与されます（参加必須）。</p> <p>SECONDプログラムが目標とする学修内容は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①東南アジアにまたがる多様な宗教文化（上座部仏教、イスラーム、儒教）の理解</li> <li>②フィールドにおける越境的な文化（伝播・接触・触変・フュージョン化）の理解</li> <li>③訪問国の政治・社会・経済システムの総合的な理解</li> <li>④グループ作業を通じた、日英両言語でのコミュニケーション深化</li> </ol> <p>・国内研修（夏季休暇中）</p> <p>夏季休暇中に実施される国内研修では、英語特別講座、交換留学申請の準備、</p>

	各アクティビティを通して、自分自身と向き合うことで、交換留学に対する目標を再確認し、具体化させていきます。
単位授与について	本プログラムは、単位授与の対象ではありません。 * 正課外のプログラムであるため、単位授与はしません。(海外研修を除く。詳細は下記を参照のこと)
開講言語	両言語
担当教員	カッティング 美紀 准教授

◎海外研修 (SECOND) プログラム概要

プログラム名称	SECOND プログラム
科目名	2017年度カリキュラム:「異文化フィールドワークⅡ」 2011年度カリキュラム:「特殊講義(共通教養科目)」
単位数	2単位(2017年度春 semester の登録上限単位数には含みません。)
開講言語	両言語
履修登録	2017年度春 semester 科目として履修登録(大学が登録します。)
成績	通常評価(A+, A, B, C / F) 成績発表は、2017年度秋 semester 履修登録修正期間2で実施予定
担当教員	近藤 祐一 教授

**募集・選考について**

申請書類に不備がある場合は、選考対象となりませんので注意してください。

募集人数	25名
応募資格	・2016年度秋・2017年度春入学1回生 ・2年次または3年次での交換留学を目標とする高い学習意欲を持つもの(日本語基準学生優先) ・水曜日の4-6限、金曜日の6限に春の正規科目の履修登録をしていないもの
英語レベル	英語履修レベルを問わず申請可能(英語準中級程度を想定した内容となります。)
応募書類	Lime Survey からオンラインで申請(志望理由を含みます。)
申請期間	2017年4月12日(水)~4月26日(水) 16:30 締切
選考方法	① 一次選考(応募書類審査) ② 二次選考(面接、英語試験)
面接	5月8日(月)~5月11日(木)(予定) 1次選考の結果と面接の詳細は申請締め切り後、4月28日(金)17:30までにキャンパスターミナルのあなた宛の重要なお知らせにて連絡します。
英語試験	5月3日(水)4-5時限(予定) 1次選考の結果と試験の詳細は申請締め切り後、4月28日(金)17:30までにキャンパスターミナルのあなた宛の重要なお知らせにて連絡します。
結果発表	2017年5月12日(金) 17:00 キャンパスターミナルのあなた宛の重要なお知らせで連絡予定

【注意事項】

○水曜日の4-6限、金曜日の6限にBASEワークショップや海外研修の事前授業が入りますので、その時間帯に履修登録をしている学生は応募ができません。本プログラムの合格発表後、履修登録をしていることがわかった場合の特別措置は一切ありません。

○交換留学という目的を達成するためには相当の精神力と体力が必要になるため、本プログラムではAPUでの4年間の学修を真剣に考えて努力をする学生を募集します。また、しっかりと目標を継続させながら他者と協力して活動に取り組む姿勢が必要になります。

○本プログラムは、留学準備をサポートする課外プログラムですが、交換留学への派遣を保証するものではありません。学内の交換留学申請は各自が別途行う必要があり、交換留学の選考基準に基づいて公平に選考が行われます。

○応募書類やプログラム参加決定後の英語スコア等は、適切なサポートを行うためにBASEプログラムの教職員、BASEのサポートをする先輩学生(ティーチングアシスタント)に共有される

場合があります。

## 学修内容とスケジュール概要

受講者は全ての授業、ワークショップ、ガイダンスに参加をしなければなりません。

	日程	内容
春 セメスタ	5月17日(水) 4限	受講者全体ガイダンス
	5月19日(金) 6限	BASE 開講式
	春セメスター中に 4 コマ程度 (金曜日 6限)	ワークショップ ①自己分析、目標決め、ラーニングコミュニティの意義について ② TOEFL 受験後の振り返りセッション
	毎週1回 8回程度 (水曜日 4限もしくは金曜日 6限)	英語講座
	7月12日(水)	TOEFL 受験
	6月28日(水) 5限 7月5日(水) 5・6限 7月12日(水) 5・6限 7月19日(水) 5・6限	海外研修 (SECOND プログラム) 事前授業実施
	7月19日(水) 4限	海外研修危機管理ガイダンス
	7月30日(日)～ 8月11日(金)	海外研修 (SECOND プログラム) 実施
	9月4日(月)～9月15日(金)の2週間	APU 国内研修 ・英語集中講座 (1日3コマ×10日間程度) ・TAによる自己分析セッション ・TAによる交換留学申請書準備セッション ・職員による交換留学についてのセッション ・教員による交換留学セッション ・自主学習 ・BASE 生対象 TOEFL 受験 (TOEFL®ITP) 1回
	秋 セメスタ	10月～11月 4コマ程度 (金曜日 6限)
10月～11月 毎週1回 9回程度 (水曜日 4限もしくは金曜日 6限)		英語講座
TOEFL 受験		BASE 生対象 TOEFL 受験 (TOEFL®ITP) 10月18日(水) 1月17日(水)
12月		振り返りセッション 1コマ
12月下旬		修了式

BASE プログラムの海外研修 (SECOND プログラム) は、事前学習、現地でのフィールドリサーチと振り返り授業、プレゼンテーションで構成されます。

◎海外研修の実習期間および事前/事後授業スケジュール

日程	概要	詳細
6月28日(水) 5限	学生向けガイダンスセッション	ガイダンス、授業オリエンテーション

7月5日(水) 5・6限	事前授業1・2	派遣国の概観・文化の理解 派遣地域の研究
7月12日(水) 5・6限	事前授業3・4	リサーチ手法の理解 リサーチトピックの検討
7月19日(水) 4・5・6限	事前授業5・6	リサーチトピックの設定 危機管理、出発前ガイダンス
7月30日(日)～ 8月11日(金)	現地実習	フィールドリサーチ
8月9日(水) 8月10日(木)	事後授業1～4	振り返りディスカッション、 プレゼンテーション、校友企画

◎海外研修行程(予定)

- 1日目 福岡～シンガポール〈空路〉
- 2日目 シンガポールよりジョホールバル(マレーシア)へ移動  
ジョホールバルよりA地点へ移動、A地点泊
- 3日目 A地点にて調査活動  
A地点よりクアラルンプール(マレーシア)へ移動  
クアラルンプール泊
- 4日目 クアラルンプールにて調査活動  
クアラルンプールよりB地点に移動、B地点泊
- 5日目 B地点にて調査活動  
B地点よりペナン(マレーシア)へ移動  
ペナン泊
- 6日目 ペナンにて調査活動、ペナン泊
- 7日目 ペナンよりバンコク(タイ)へ移動〈空路〉  
バンコク泊
- 8日目 バンコクよりC地点に移動、C地点泊
- 9日目 C地点にて調査活動、C地点泊
- 10日目 C地点にて調査活動  
C地点よりビエンチャン(ラオス)へ移動、ビエンチャン泊
- 11日目 ビエンチャンにて振り返り・成果発表会、ビエンチャン泊
- 12日目 ビエンチャンより福岡へ移動〈空路〉
- 13日目 福岡着

**参加条件**

1. 経費

プログラム費

- ・参加には約310,000円のプログラム費用を支払う必要があります。
- ・詳細は、5月19日(金)の開校式にて連絡します。支払期限は5月31日(水)予定です。
- ・プログラム費用に含まれるものは以下のとおりです。

プログラム費用に含まれるもの	プログラム費用に含まれないもの (自己負担するもの)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語講座</li> <li>● ワークショップ</li> <li>● 英語集中講座</li> <li>● 国内研修参加費</li> <li>● 海外研修(SECOND プログラム)参加費(右表の費用を除く)</li> </ul> 福岡 - シンガポール間航空券 ペナン - バンコク間航空券 ビエンチャン - 福岡間航空券	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IELTS受験料(任意)</li> <li>● 海外研修費一部費用</li> </ul> 左記以外の交通費、宿泊費*1(40,000円程度) 福岡空港までの往復国内旅費 食費、個人的な費用等 リサーチ活動に関わる備品、コピー代等 海外旅行保険料*2(指定; 標準プラン5,790円)

シンガポール（1泊）での宿泊費用 クアラルンプール（1泊）での宿泊費用 ペナン（2泊）での宿泊費用 バンコク（1泊）での宿泊費用 ピエンチャン（2泊）での宿泊費用 携帯およびWifi レンタル（各グループにつき1台） J-TAS 危機管理システム加入料 ● TOEFL® ITP 受験料（義務受験除く） ● その他プログラム実施に関わる費用 ● 教材費 ● TA 雇用費	VISA 取得費用（必要な場合） 予防接種費用（任意）
---	--------------------------------

\*1

プログラム費とは別に海外研修の調査活動に伴う以下の交通費、宿泊費が現地で必要になります。

- シンガポール～調査 A 地点～クアラルンプール間の移動と宿泊（1泊）
- クアラルンプール～調査 B 地点～ペナン（マレーシア）間の移動と宿泊（1泊）
- バンコク～調査 C 地点～ピエンチャン間の移動と宿泊（2泊）

\*2

海外旅行保険料

個人で既に参加している場合も、APU が指定する海外旅行保険への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

## 2. （海外研修）参加者において必要な手続き等

### 査証（ビザ）

- ・参加者の国籍によってはビザが必要です（日本国籍の場合は必要ありません。）
- ・ビザは、国籍、その他様々な事情により取得が困難な場合もあります。万一、ビザが取得できない場合は、やむを得ずプログラム参加不可となり、その場合、参加不可に関わる一切の費用（キャンセル料金等）は学生本人の負担となります。
- ・ビザは参加学生が個別に申請してください。（申請代理会社の紹介はできます。）
- ・【国際学生のみ】 プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限も確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

### 予防接種

受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類、推奨レベルを案内します。予防接種は必須ではありませんので、推奨レベル等の情報に基づき、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

## 3. 免責事項・注意事項

### プログラムの中止や内容の変更

- ・参加者の健康や安全を第一優先するため、実習で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。また、引率教員や職員の判断に基づき、参加者のプログラム参加許可が取り消されたりする場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。

### プログラム参加決定後（最終選考結果発表後）の辞退について

- ・プログラム参加者決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になるなど、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。大学は皆さんがプログラム申請をした時点で参加の意思があるものとして選考を行い、参加決定後の辞退は認めません。申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、予定の調整等の準備を行ってください。なお、プログラム参加決定後（最終選考結果発表後）に辞退せざるを得ない状況が生じた場合は、辞退する学生本人が所定のキャンセル費用を支払う必要があります。

## キャンセル料について

- ・ 参加者の事情により、プログラム開始前またはプログラム開始後に参加を中止する場合、辞退する学生は、その時点で既に発生した参加者にかかる費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。キャンセル料は、辞退時点で既に発生した諸費用の総額となります。
- ・ 既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、派遣先大学から APU への払い戻し等が必要な場合等、一定時間を要します。予めご了承ください。

## 履修登録における注意事項

### 履修計画について

- ・ 本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はしませんので、自己責任において、プログラムの応募、履修判断を行ってください。
- ・ 2017 年度春 semester 第 2 クォーターの追試験日は 8 月 8 日および 8 月 9 日です。本プログラムの実習期間と重なりますので、履修登録の際には十分注意してください。プログラムの参加を理由に追試験を受験できない場合であっても、特別な配慮はありません。自己責任において、プログラムの応募、履修判断を行ってください。

## 規律事項

### 1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学が実施するプログラム（以下「プログラム」という。）に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学（以下「本学」という。）の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関（以下「派遣先」という。）の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。

### 2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任でおこなうこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム（J-TAS）等へ加入すること。（海外プログラムのみ）
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (5) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、派遣先の当該担当者の判断によって処置することに同意すること。

### 3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用（研修料・宿泊費・交通費・保険料等）は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)について負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等、本学および派遣先が管理できな

い状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。

- (6) 故意または重大な過失により、APUに重大な損害を与えた場合は、必要に応じ賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人、ホームステイ先等)による不法行為が原因で参加者本人に事故や損害が生じた場合、参加者本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負わない。

#### 4. 入国・帰国 (海外プログラムのみ)

- (1) 本プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) 本プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

#### 5. 誓約書の提出

上記事項を理解し厳守するために、本人および保証人による誓約書を提出すること。

### その他

#### ・ 個人情報の取扱いについて

派遣に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、大使館、領事館、外務省等)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、Eメールアドレス、生年月日、パスポート番号などがあります。

#### ・ 姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

また、プログラム参加中は大学が定めたルールを守らなければなりません。大学が定めたルールとは、上記「規律事項」(「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」)の他、飲酒、自動車・バイク運転、レジャースポーツの禁止等があります。詳しくは、参加決定後のガイダンスで説明を行います。

#### ・ 宿泊

宿泊先では、宿泊施設の規則や指示に従ってください。

### 問い合わせ先

- ・ アカデミック・オフィス B棟1階
- ・ TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
- ・ 担当者: アカデミック・オフィス 河野、大久保、小名川

MEMO